

# SINRA

深呼吸する地球マガジン

シンラ 6

JUNE 1994

都会といふ砂漠で、  
湧き水を探した。

〈特集〉東京の湧水・名水・天然水ガイド

木林林浴を雑誌の中  
日本の照葉樹林・九州縦渓谷の四季

# 先端技術が住宅をやさしくする。

夜になり明かりを灯すと、ドモテックの家がいかに多くのガラスを使用しているかが分かる(左)。リビングルームは1階がお客さんのためのもので、2階にプライベート用がある(左下)。

パリエ氏はロワール川が流れる古城の街トゥール市で、自ら設計した家に住み、ある実験と検討を行なっている。玄関を入ると右側に台所。その左隣に細長いドアがある。ドアを開けると、コンピュータ・キット。これがパリエ氏の提案する「ドモテック」と呼ばれる近未来住宅の心臓部だ。

このキットに室内照明、暖房、空調などをプログラミングすると、常に適切な環境が保たれる。

「一般に機能的な家は無機質と言われるが、私は先端技術と共に生じることが近未来の住宅には必要だと確信しているんです。コンピュータ制御でエネルギーを管理すれば無駄は排除され、結果的にエネルギーの節約ができる

南面の総ガラスが目を引く。

「この窓は二重窓で、金属が含まれている特殊なガラスでできてるんです。太陽熱を通してますが、内部の熱を放出しにくくなっています。まるでガラス張りの植物園に住んでいるようなものですよ。こうした工夫により、自然の恵みをうまく取り入れ、制御しているわけです」

暖房設備は床暖房と電気ヒーター。床の温度が摂氏二〇度を超えると足が浮腫むといわれ、ヨーロッパでは床暖房の危険性が指摘されている。そこで、パリエ氏は床温度を一四度に設定し、太陽光と

パリエ氏はロワール川が流れる古城の街トゥール市で、自ら設計した家に住み、ある実験と検討を行なっている。玄関を入ると右側に台所。その左隣に細長いドアがある。ドアを開けると、コンピュータ・キット。これがパリエ氏の提案する「ドモテック」と呼ばれる近未来住宅の心臓部だ。

このキットに室内照明、暖房、空調などをプログラミングすると、常に適切な環境が保たれる。

「一般に機能的な家は無機質と言われるが、私は先端技術と共に生じることが近未来の住宅には必要だと確信しているんです。コンピュータ制御でエネルギーを管理すれば無駄は排除され、結果的にエネルギーの節約ができる

Jean-Yves Barrier

ジャン=イヴ・バリエ フランス在住。

建築家。1950年トゥール生れ。

トゥール芸術学院卒。

'93年度フランス建築賞を受賞。

舞台装置制作も手がける。

フランスで最も注目される建築家の一人。



## 建築探偵の診断

その③

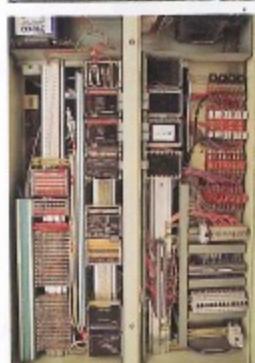
率直に言うと、こういう家は僕の好みじゃない。コンピュータ制御は日本でも研究されたけど、オフィスピルの技術で住宅用には向かないと思う。だって温度や湿度のコントロールにそれほどの精度はいらないでしょ。夏は少し暑いくらい、冬は少し寒いくらいが人間が住むにふさわしい。住宅にはその意味で多少のいい加減さがあつていいと思うよ。

探点★

「この窓は二重窓で、金属が含まれている特殊なガラスでできてるんです。太陽熱を通してますが、内部の熱を放出しにくくなっています。まるでガラス張りの植物園に住んでいるようなものですよ。こうした工夫により、自然の恵みをうまく取り入れ、制御しているわけです」

パリエ氏の場合、先端技術が「心地よい生活」を可能にするという考えだ。

「ビオテック(バイオテック)」という言



2階のプライベート・リビングの窓がバルスームだが、ガラス1枚でオープンにつながっているのが特徴。アラビアンスタイルがアクセントとして使われている(上)。これがドモテックの家の心臓部とも言えるコンピュータ・キット(左)。キッチンは1階にあるが採光もいい(最上)。

で、定価は未定だという。

偏見があるようですが

ドモテックの家はいわば試作品なので、定価は未定だという。

葉が適切かな。つまり「人間が快適に住める」住宅。現在、眼の動きで操作できるパソコンがあります。身体障害者が住む家に、そうした眼の動きでプログラムできるコンピュータがあれば、どんなに快適でしょう。最先端の住宅は単に金持ちだけのものではありません。より多くの人にこのような住宅の存在を知つてもいい、利用してもらいたいものです。フランスの建築家にはまだ先端技術に

